

【別添様式2：不適合事象報告書】

JFEエンジニアリング株式会社  
統括所長

不適合事象の種類	消防署が出動して鎮火した火災（区分2）
不適合事象発生場所	リサイクル施設（可燃粗大ごみ受入コンベヤ）
不適合事象発生日時	令和6年4月23日 午前10時54分頃
1) 不適合事象発生概要	可燃粗大ごみ受入コンベヤ内における可燃ごみへの着火
2) 不適合事象の原因	搬入された粗大ごみの中に、本来分別されるべき発熱性の高いごみが混入していたため、発火し、他のごみへ着火。（発火物の特定には至らず。）
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況：無 ②人的被害状況：無 ③二次被害状況：無 ④周辺環境への影響：不明
4) 不適合事象発生時の対応等	リサイクル中央制御室内の複合受信盤で火災を検知した。 発報した箇所を確認すると、可燃受入コンベヤ上部吹抜けと判明した。 中央制御室のITV画面では、炎の確認ができなかったため、作業員が直ちに可燃破砕機室に向かい、初期消火を開始した。 現場において、作業員による消火は、困難であると判断し、運転所長に消防への通報を要請した。 発火点付近から複数回の破裂音が発生したため、初期消火に従事した作業員を退避させた。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止時間：2日5時間 復旧時間：令和6年4月25日 15時45分頃
6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況	①不適合事象対策本部の設置：無 ②周辺環境調査の実施：無 ③不適合事象調査委員会の開催：無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 【復旧作業】 1)メーカーによる点検、試運転・調整の実施 【不適合事象防止対策等】 1)可燃粗大ごみ受入コンベヤ火災対応作業手順書の新規作成 2)所員に再発防止に向けた安全教育の実施 3)可燃粗大ごみ受入コンベヤ火災対応訓練の実施
7) その他	なし

【経過報告】

令和6年4月23日

- 10:54頃 焼却中央制御室内の複合受信盤で煙感知器が発報(2階0区130番粗大受入コンベヤ室吹抜け)。ITV画面では、炎は確認できず。
- 11:00頃 現場に急行した消火班が、可燃粗大ごみ受入コンベヤ頂部にて炎を目視で確認し、初期消火を開始。
- 11:03頃 発火点付近から、複数回破裂音が発生。  
自衛による消火は困難と判断し、消火班が運転所長に消防への通報を要請。  
発火点付近に留まっているのは危険と判断し、運転所長は、退避を指示。
- 11:05頃 2階可燃粗大ごみ受入ホッパ部でも延焼を確認し、初期消火を開始。
- 11:10頃 運転所長からの連絡を受け、焼却中央制御室より消防に通報。
- 11:20頃 消防・警察が到着。消防が、消火活動を開始。
- 11:24頃 全てのごみの受入を停止。
- 11:45頃 ごみ収集車の滞留解消のため、焼却棟への可燃ごみの受入を再開。
- 11:52頃 消防により、鎮火を確認。
- 12:10頃 焼却中央制御室より、鎮火の報告を放送。
- 12:30頃 リサイクル棟へのごみの受入を再開。
- 13:00頃 リサイクル棟 資源ライン(ペットボトル、缶類)の運転を再開。
- 13:20頃 消防による現場の検証が終了。現場での原因物の特定には至らず。  
消防が原因物の特定のため、可燃粗大ごみ受入コンベヤ内の遺留物を持ち帰る。

令和6年5月7日

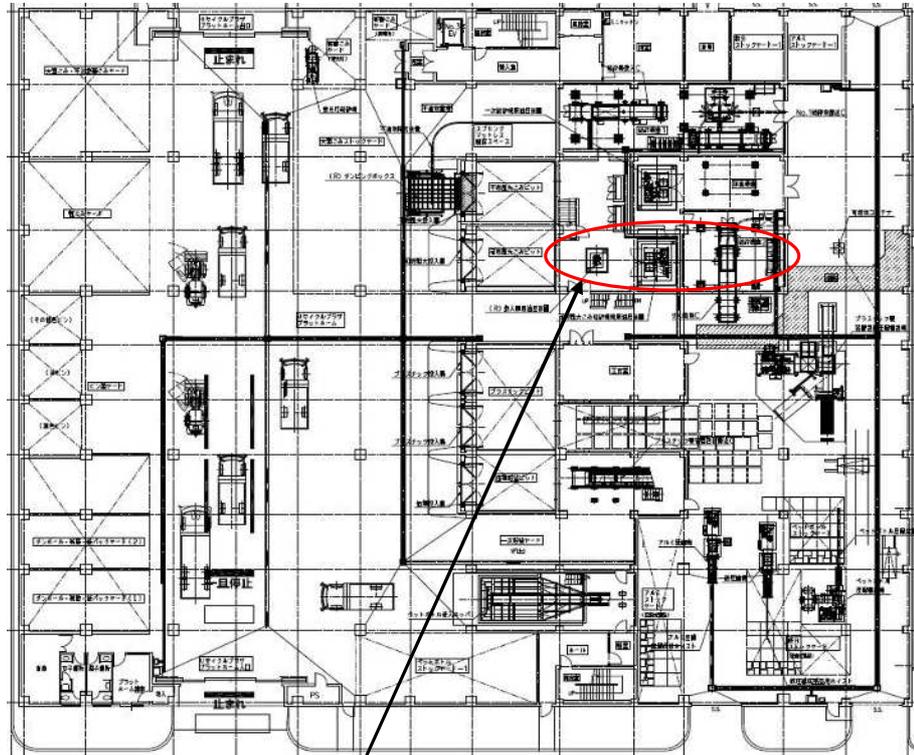
- 11:40頃 消防が来場。持ち帰った遺留物から、発火物は特定できなかつたと報告あり。

消火活動等の状況



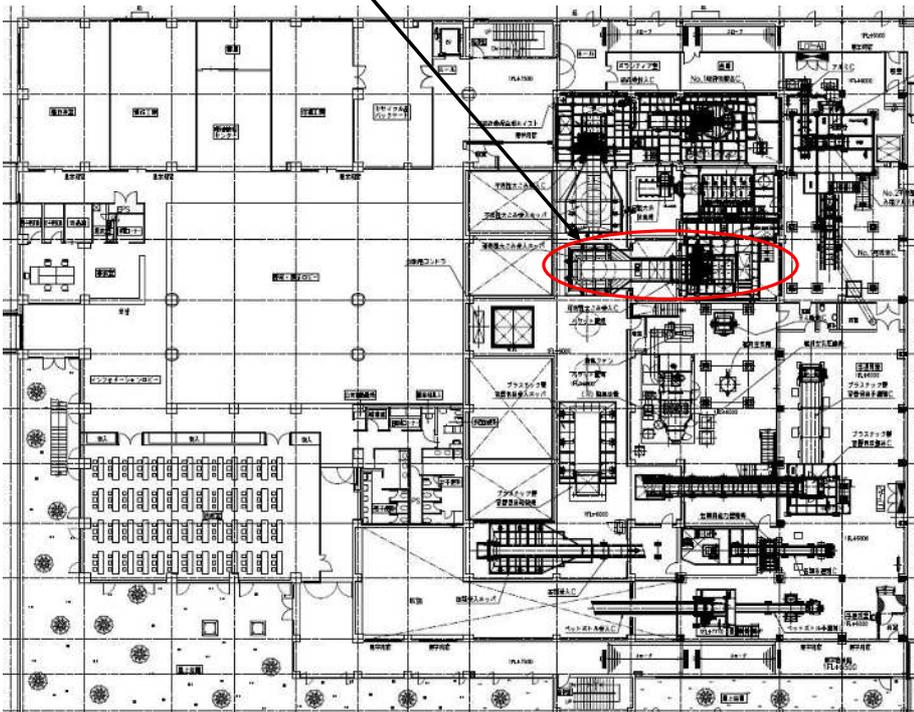
火災発生場所

リサイクル施設



平面図(1F)

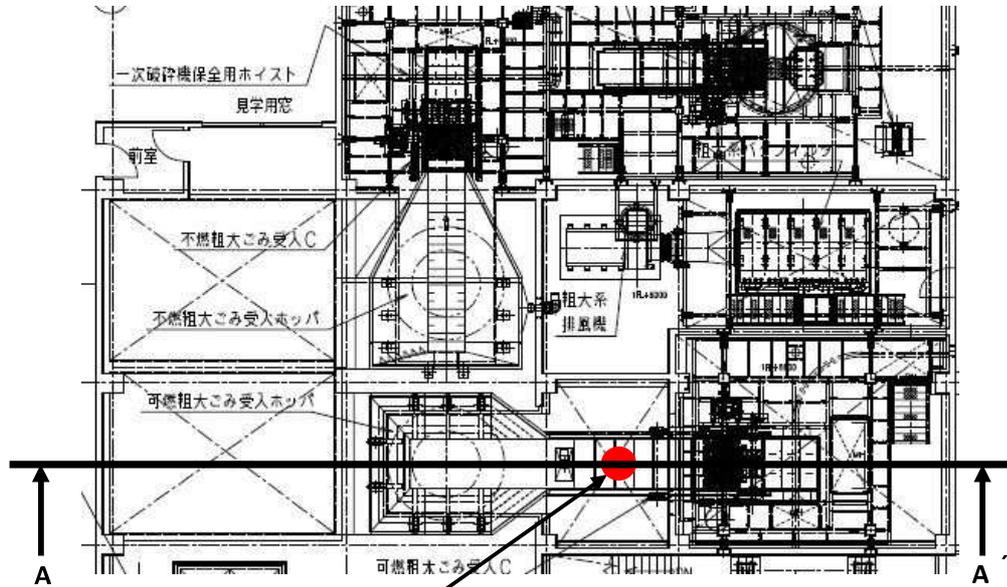
発生場所



平面図(2F)

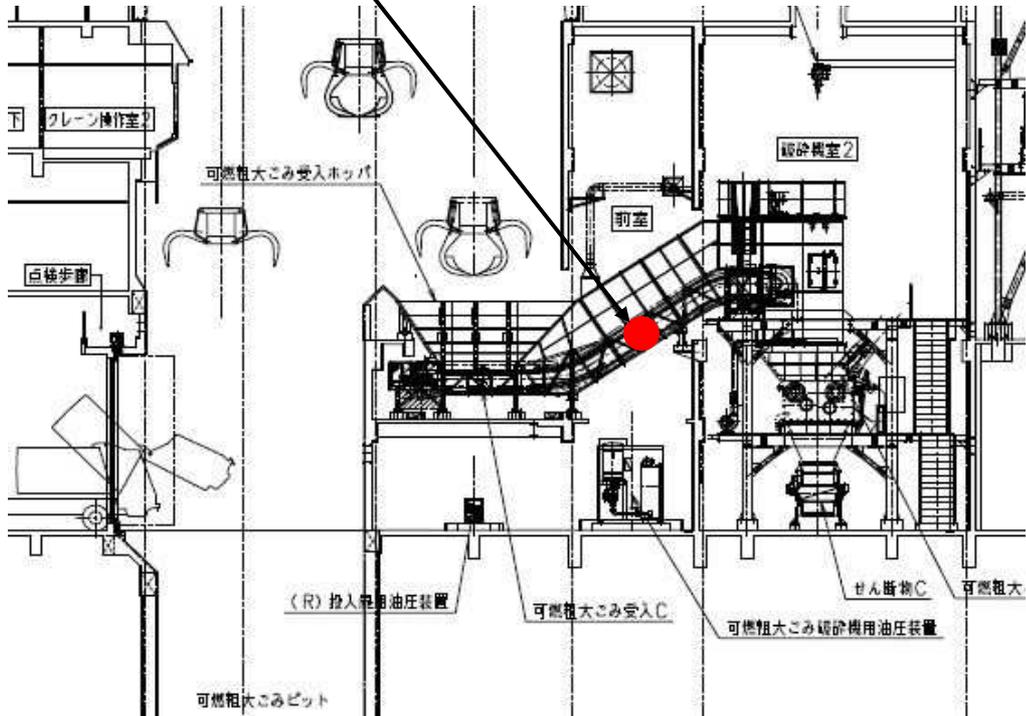
火災発生場所

# リサイクル施設



平面詳細図(2F)

## 発火点



断面図(A-A)